よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

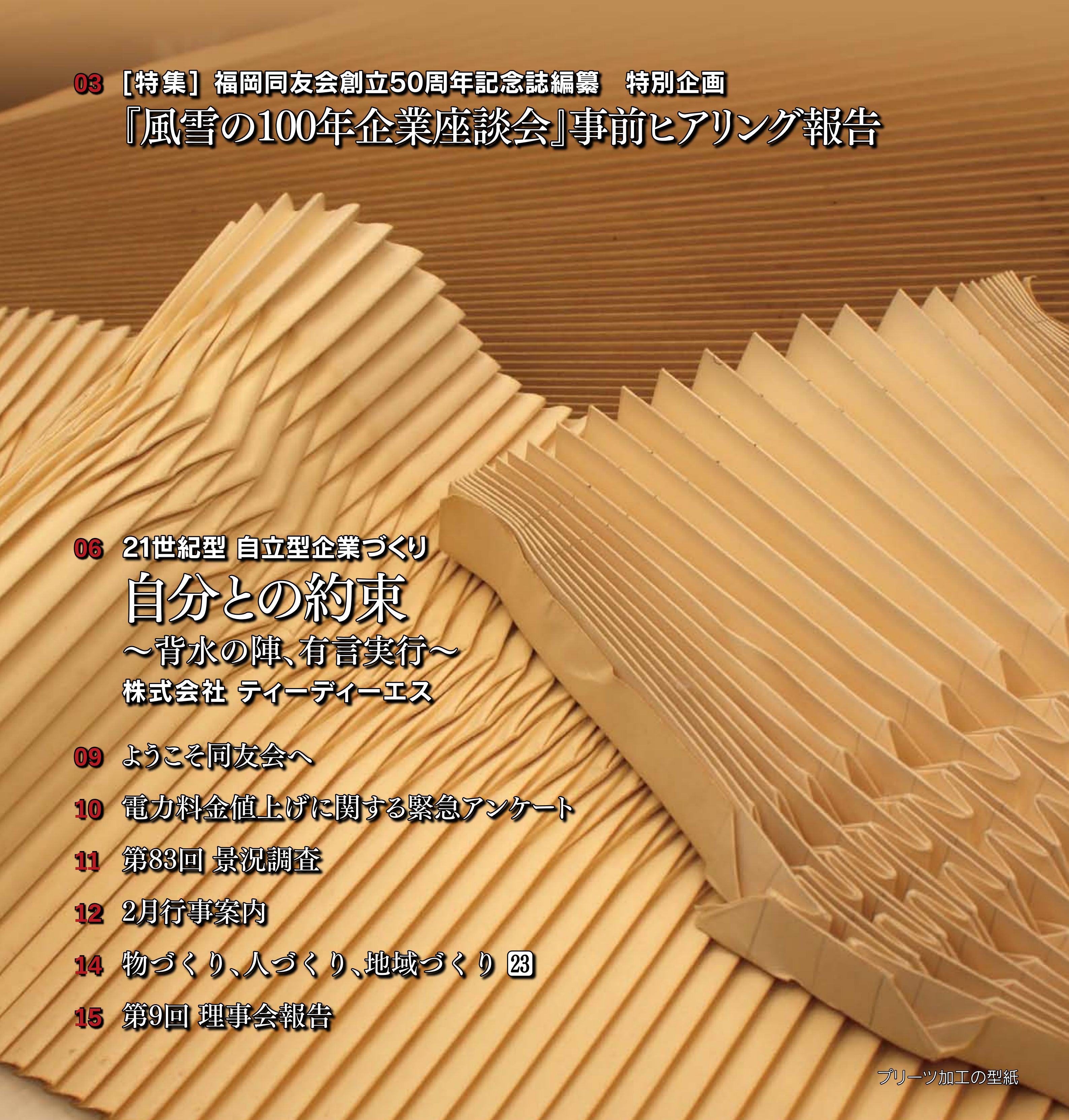
月刊 同友

2013 February

02

Vol.559

Monthly Communication Magazine DOYU



03 [特集] 福岡同友会創立50周年記念誌編纂　特別企画
『風雪の100年企業座談会』事前ヒアリング報告

06 21世紀型 自立型企業づくり
自分との約束
～背水の陣、有言実行～
株式会社 ティーディーエス

09 ようこそ同友会へ

10 電力料金値上げに関する緊急アンケート

11 第83回 景況調査

12 2月行事案内

14 物づくり、人づくり、地域づくり ㉓

15 第9回 理事会報告

プリーツ加工の型紙

同友会 3つの目的

よい経営環境をつくろう
同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

よい経営者になろう
同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収しこれからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい会社をつくろう
同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

はみだし Report
21世紀型 自立型企業づくり

（本誌p.06掲載）

株式会社
ティーディーエス
代表取締役
吉浦 茂弘 氏
（東支部）

吉浦さんは趣味が高じてダンスが生業となったのですが、ほかに釣りや映画鑑賞が好きと言います。「釣りは主に志賀島です。映画は映画館に行く暇がないのでもっぱら自宅でTVやDVDですね。最近観た作品では『仁』や『アバター』が面白かったです」。
2月に開催される全研では『懇親部会長』を任されています。打ち合わせに余念がありません。「他県からいらっしゃる会員様を温かくお迎えしたいですね。懇親会が終わりましたら、ぜひ夜の博多に繰り出して延長戦に入ってください」と語る吉浦さんでした。

記事：菅原 弘

今月の表紙

撮影：佐藤 愛

プリーツ加工を行うのに必要な型紙です。形のついた型紙の上に生地をおいて、もう一枚型紙をのせ挟みます。専用の真空釜に入れ40分程度蒸すことにより、型紙どおりのプリーツが出来あがります。

「私の逸品」 プリーツ加工の型紙
（株）オザキプリーツ 代表取締役 尾崎 義行 氏

※今月号P14「物づくり人づくり地域づくり」で
企業紹介をしています。

「あなたの写真で表紙を飾りませんか！」

表紙の写真を公募いたします。テーマは「私の逸品」です。
詳細は、福岡県中小企業家同友会 広報情報室 「月刊同友」編集部まで
締め切り…平成25年4月号は平成25年3月1日必着
投稿方法…電子メール、郵送いずれも可
表題に「みんなの広場」とご記載ください。
郵 送 先…福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
もしくは a_satou@fukuoka.doyu.jp まで

※応募が多数の場合は編集委員会で選考いたします。なお、投稿いただいた作品は返却いたしませんので、ご了承ください。
※表紙に目次が入るため、写真に文字が入ります。ご了承ください。

Information

50 ANNIVERSARY 1963-2013

福岡県中小企業家同友会 創立50周年記念事業
創立50周年記念式典

ぜひご予定下さい!!

とき 2013年4月25日（木） 〔12:00 受付〕

13:00 ～ 第51回定期総会

15:15 ～ 50周年記念企画

【第一部】
◎記念式典（15:15 ～ 16:15）
◎記念講演（16:25 ～ 17:45）
講師：鳥越俊太郎氏

【第二部】
◎祝賀会
（18:00 ～ 20:00）

ところ ホテル日航福岡 3階 “都久志の間”（福岡市博多区博多駅前2-18-25）

特集

福岡同友会創立50周年記念誌編纂　特別企画

『風雪の100年企業座談会』事前ヒアリング報告

福岡同友会創立50周年を迎えるにあたり、記念事業の一つとして「50周年記念誌」の編纂を行っています。記念誌の目玉企画「風雪の100年企業座談会」は、創業から100年以上続く企業の会員による座談会です。風雪の100年を生き抜いてきた中小企業の歴史を知り、これからの時代の変化をとらえる中小企業家たちが勇気を持つことのできる内容です。
今回、**福岡大学の合力知工先生**にコーディネーターを務めていただき、各社の事前ヒアリングを行いました。

プロフィール
合力（ごうりき）　知工（ちこう）氏

福岡大学　商学部経営学科　教授
経営戦略論を担当。『「逆転の発想」の経営学―理念と連携が生み出す力―』など著書多数。
福岡同友会では中小企業憲章本部のアドバイザーとしても活躍。

現在、福岡県中小企業家同友会のメンバーで100年以上続いている企業は、20社あるとのことです。福岡同友会では、創立50周年記念事業の一環として、「100年企業座談会」を企画し、光栄なことに、私がその座談会のコーディネーターを任されました（ちなみに、私も50歳ですので、福岡同友会とは何か深い繋がりを感じます）。

20社のうち8社（資）若竹屋酒造場、小川又（株）、占部大観堂製薬（株）、（株）谷呉服店・染寿、（株）萃香園、（株）吉開のかまぼこ、（株）玉置、（有）北伊醤油を選び、事務局の方と一緒にその8社すべてに事前ヒアリングに伺いました。ここでは、その取材メモを振り返って8社についての私の感想を記していきたいと思います。

まず、**（資）若竹屋酒造場**で印象的だったのが「経営者は定石を学ぶことが大切です。経営者はまずその土台作りをしっかりとすべきで、その土台の上に経営革新がなされる」という、林田浩暢社長の言葉です。非常に勉強熱心で、ルールや理性的なセオリーを重視される経営者だと感じました。その一方で、林田社長は、自らの商売を「人間活性化業」と位置付けています。「お客さまや地域の人に『知ってもらう活動』から、彼らと一緒に『価値を創り上げていく活動』へと今は変わってきています」という言葉からは、セオリーを重視しながらも人間味を忘れない「理に情を添える経営」を感じました。

（資）若竹屋酒造場　社長　林田 浩暢氏（1699年創業　314年）

次に、**小川又（株）**で印象深かったのが2002年に同社を襲った経営危機の話です。同年、福岡営業所を閉鎖し、消費・流通の変化に伴い、主力商品であった呉服・宝石・毛皮の販売から完全撤退。2004年

に白衣の製造会社を取得し、SPA（製造小売り）への業態転換を図りました。この英断により、これまでの取引先は無くなり、年商は40億円から1億円へと激減しました。財産を全部つぶし、やむを得ず家族同然の社員も泣く泣く解雇しました。社長のお母様が当時のことを振り返って話をして下さいましたが、リストラの話のときには「本当に申し訳ないことをした」と、涙で言葉を詰まらせていました。同社の強みは「即時対応」。地元では徹底的に商圏を絞り込み、地域に密着して新規顧客を増やしています（この1年で、新規を200増やしたそうです）。「1年程度の通いですぐOK

小川又（株） 代表取締役 小川 又三郎氏（1863年創業 150年）

する会社は、逆にすぐ切られる可能性も高いと考えている。手間暇をかけるから長続きするんです」という小川又三郎社長の言葉に、社長の「何とかするぞ！」という強い意気込みを感じました。

占部大観堂製薬（株）は、今回の参加者の中では唯一、現社長が創業者一族ではありません。1995年に、占部家の後継者がいなかったため、薬を残すために、現社長の永岡訓二氏が出資し、株式会社化しました。会社を存続させるためにはこういう選択もあるのだなと頷かされました。同社の薬、黄胖丸（おうはんがん）は江戸時代の文献に記録が残っており、「江戸時代に1品（黄胖丸）、昭和期に1品（母の友）、そして平成に何を作り、残すかを考えています」という、常務取締役の宇都宮浩文氏の言葉からは、同社が、薬事法という法律に制約を受けるのではなく、それをうまく利用して、非常に長期的な視野で経営を行っていると感じました。

占部大観堂製薬（株） 常務取締役 宇都宮 浩文氏
（1790年創業 223年）

（株）谷呉服店・染寿は、設立当初、酒や塩、金物、荒物など、色々なものを取り扱っていました。そして、戦前にミシンを購入し、3代目から、呉服を専業にしたそうです。フォーマルな場では伝統的な呉服を提案し、若者には遊び感覚で着られる着物を提案していくことを始めています。薬剤師の資格を持つ、谷もと子社長は、「着物にアパレルの要素を加え、他社にはないオリジナルの商品を展開していく試みをしている」と言います。「値段が高い呉服は、価格競争をするのではなく、なぜ高いのかを顧客に訴えていけばよい。それは商品力にほかなりません」。理系の目で呉服を見ていく姿に、新しさを感じました。

（株）谷呉服店・染寿 後継者 谷 修一朗氏（1877年創業 136年）
※（左）谷氏 （中）会長 （右）社長

（株）萃香園は、久留米に長い歴史を持つ料亭であり、1971年からホテル部門も始めました。とにかくその調度品がすばらしい。川村芳子社長の話によると、夫であり前社長の安正氏のセレクトということですが、

（株）萃香園 代表取締役社長 川村 芳子氏（1882年創業 131年）

時間（新しさと古めかしさ）と空間（和と洋）のバランスにほれぼれしました。「上質の料理とお客さまの目線に立ったサービスの提供、そして徹底的に地域に密着し、地域に根差した経営を行っています」という川村社長。ここにも、地域と共に生きようとする姿を窺い知ることができました。

（株）吉開のかまぼこからは、とにかく「こだわり」を感じました。8社とも老舗企業ですから、相当のこだわりをもってこれまで経営に携わって来られたと思いますが、その中でも特に同社からは「徹底的なこだわり」を感じました。「現在、無添加表示のかまぼこも出来てはいるが、実は表示の必要がない添加物のリン酸塩は、みりんなどの二次原料に入っています。うちは原料からこだわり、コストがかかっても、完全無添加にこだわる。これで、他社との差別化を図っています。かまぼこで使用するめんたいも高菜も、完全無添加のものを使用しています」と言い切る吉開喜代次社長の言葉からは、「消費者を絶対に裏切らない」という強い決意を感じました。

（株）吉開のかまぼこ　代表取締役社長　吉開 喜代次氏
（1892年創業　121年）

（株）玉置は、紙の仕入れ販売からスタートした会社ですが、現在は文具、事務用品、OA機器、雑貨等を販売しています。代表取締役の玉置一貴氏は、非常に勉強熱心で、常にアンテナを張り巡らせて、伝統と新しさのバランスをうまく組み合わせてビジネスを展開している戦略家だと感じました。昨年オープンしたばかりの雑貨&ステーショナリーの店舗「CuLuRe（クルール）」で取り扱っている商品は、どれもオシャレで、欲しくなるようなものばかり。福岡都心部に置いてあるものにも引けを取りません。玉置氏やスタッフが日本各地での出張先で目にしたものを、店頭に置いていることも多いそうです。非常にセンスの良さを感じました。

（株）玉置　代表取締役　玉置 一貴氏（1900年創業　113年）

（有）北伊醤油は、昔ながらの製法で、完全無添加。効率が悪いということでこの製法をやめていく醤油屋が多かったそうですが、同社は現在もこれを続けています。また、同社はとにかく地元を愛していると感じました。現在も1軒1軒、配達をしているそうで、後継者の山上弘司氏は「糸島で育ち、糸島と生きる」と言い切ります。「糸島の人たちとコラボで何かを作りたい」とWin－Winの関係を重視。「糸島という地域で、子供たちと一緒に、大豆の栽培から、仕込み、醤油を絞るなどの工程を全部やって、卒業式の時に、それをプレゼントするのが夢です」と熱く語った山上氏からも、やはり「地域と共に」という姿勢を感じました。

（有）北伊醤油　後継者　山上 弘司氏（1897年創業　116年）

これら8社の多くに共通していたこと、それは、「地域の人々とともに自社も成長していきたい」ということです。地域の人を「単なる顧客」ではなく、「共に成長する仲間」と考える発想が、その根底にはあります。小中学生やお客さま、地元の人たちとともに商品を作っていったり、育てていったりと、既にその仲間を増やす取り組みが行われています。大学生を巻き込み、コラボ商品を作ろうとする動きもあります。今回の取材を通じて、「地域の永続を願い、具体的に行動に移す」ということが、永続する企業の要件ではないかと感じました。

自分との約束

背水の陣、有言実行

ユニークな形態で経営をする㈱ティーディーエス。自ら作成した経営指針書がどう関わってきたかを取材しました。

取材　月刊同友編集部
文章　菅原 弘
写真　佐藤 愛

株式会社 ティーディーエス

代表取締役

吉浦（よしうら）　茂弘（しげひろ）氏

東支部

創業　2004年4月
住所　福岡市博多区博多駅東2-2-2　博多東ハニービル9F
電話　092-432-3060
社員　8名
http://www.TDSconsult.co.jp

独立までの経緯

「弊社にはコンサル会社・ダンススクール・人材派遣会社と3つの会社がございます」と語り始めたのは、㈱ティーディーエス代表取締役の吉浦茂弘さんです。

吉浦さんは福岡市中央区那の津にある吉浦運送㈱の2代目吉浦忠さんの長男として昭和47年に生まれました。将来は3代目経営者となることは自他ともに認めるところでした。関西大学大学院を卒業後ダイハツ工業に就職、ISO推進室に配属になりました。文字通りISOのノウハウを修得し平成9年後継者として吉浦運送に入社します。同友会には経営の学びを得るために平成13年に入会しています。翌14年には

ISO14001認証を取得し、その後同社のISOコンサル部門として活動しています。

ここで事件が起こります。父親である2代目忠さんが自分の弟(吉浦さんの叔父)に株を売却しそのまま会社を飛び出してしまいました。当然社長を志していた吉浦さんは、考えに考え抜き退社を決意するのでした。気が付けば一家の大黒柱のように家族から言われ、そのプレッシャーも大きかったようです。長男としての責任、そして母親を含めた家族の生活にこれまで以上の責任を負うようになったのです。次の人生を歩む際に、どのような仕事がいいのだろうと考えたとき、自分の専門分野のISOコンサルとともに、「どうせリスクを負うなら得意なことをしよう」と趣味のダンスも取り入れた2本柱の会社をつくり独立することを決意しました。まさに背水の陣での決断でした。

発表会の風景。会員3000人、出演者200人、観客1700人です。

設立前に経営指針書作成

当時同友会では支部ごとに経営指針書作成セミナーを設置していました。リーダーの田浦通さんから「吉浦さんの新しい会社は何のために存在するのか？理念は何か？ビジョンはあるのか？5年後10年後にどんな会社にするかを見据えて経営指針書を作るべきだ」と言われ、セミナー合宿に参加しました。真剣に取り組んだ吉浦さんは経営理念と共に数値目標として「10年後社員40名、売上5億円、社員の平均年収500万円」というビジョンを作りました。

吉浦さんはできたての経営指針書を3月の支部例会で発表しました。「支部の100名の会員さんの前で発表しました。これは会員さんとの約束、そして何より『自分との約束』だと思いました」。この例会は今でも語り草となっています。直後の平成16年4月㈱ティーディーエスを設立しました。

コンサル業

㈱ティーディーエスはISO(国際標準化機構)、プライバシーマーク(個人情報などの管理・通称Pマーク)、エコアクション21(環境に対する取組み)など、企業が資格を取得するためのコンサル会社です。「コンサルに関しては中小企業様をターゲットとしています。設立当初、ISOのコンサルタントは大企業を定年退職された方にお願いしていました。しかしそういう方は中小企業に馴染まないというか、上から目線というか・・・私たちのお客様には受け入れられなかったんです。こりゃ、いかんと思いました」。そこで吉浦さんは若い人を採用して徹底的に教育し資格を取らせました。「ウチのスタッフは若いですよ。コンサルタントというよりお客様の会社の一社員としていろんな仕事をさせていただいています」。現在では10名のスタッフが東京・大阪・福岡を拠点として全国を網羅しています。顧客からの要求があってISOを取得する企業、入札の要件を満たすための企業、会社ルールの標準化をしたい企業、企業内での社員教育や後継者にバトンタッチするための社内環境整備を目的として取得する企業もあります。「『公共事業などが落札できた』というお声を聞くと嬉しいですね」と吉浦さんは目を細めます。同社の経営理念は『顧客の価値創造』となっています。

ダンス業

吉浦さんは『ダンス甲子園』に魅せられ学生時代からダンスを始めたと言います。㈱ティーディーエスのダンス部門を独立させたのが㈱アローズです。現在松矢光彦さん(東支部所属)に社長を託しています。「彼は最近テレビ出演やCMのオファーもきていて、人気者ですよ」。吉浦さんはこの会社では代表取締役会長になっています。

設立当時から福岡市舞鶴にスタジオを構えており、HIPHOPなどのストリートダンスのスタジオです。会員数は3000名を超え、常時500名が利用していま

す。スタッフは5名、インストラクターは30名いるそうです。「今はお子さんが習いに来ることが多いんですよ。全国的にダンスブームなんですね」。小中学校はすでに必須科目となっており高校も今年から採用されます。「体育の先生も習いに来ていますよ」。経営理念は『元気を福岡、日本、世界に』です。

経営理念を表示したものです。
コーポレートカラーは緑です。

コンサル業に必要な資格の登録書。ISOの種類は年々増え、月に1回開催している情報共有の会議は大変重要です。

人材派遣業をM&A

設立して5年ほど経ったころ、Pマークのコンサル先である人材派遣会社の社長から、「この会社を引き継いでくれないか」という話を持ちかけられました。吉浦さんの人柄を見てのことでしょう。「東京からもM&Aの引き合いが来ているが、ドラスティックな改革をされると、ウチのスタッフは辞めてしまうかも知れない。吉浦さんならみんなが安心してついて行ってくれると思う」。しかし、吉浦さんは見合う資金を持ち合わせていないことを理由に断っていました。当時は『派遣村』『派遣切り』など言われ『派遣』が諸悪の根源のように言われているころでした。誰と相談しても「辞めるべき」と言われました。さらに会計の先生に財務内容を調べていただいたところ「財務体質は悪くないのに、M&Aをする動機が分からない。簿外債務があるんじゃないか？吉浦さん、騙されてないか？また法律の改正などによって経営が悪化する可能性もあるぞ」と、とうとう会計の先生にも反対されました。

しかし一つ心に引っかかることがありました。それは独立前に作成した経営指針書の中の『自分との約束』でした。「10年たったら年商5億円の会社にする。今M&Aをすれば達成できる。あの社長は嘘をつくような人じゃないというのは自分が一番わかっている。派遣事業とは雇用の創出という立派な社会貢献ができる組織である」。そこで吉浦さんは資金を工面してM&Aをするのでした。事務・クリエイター・デザイナー・経理・CADなど事務系のスタッフの派遣をしています。現在3000名が登録し、常時100名が稼働しています。前社長には顧問としてアドバイスいただきながら経営しています。「経営指針書を作っていなかったら、M&Aなどしていなかったでしょうね」と苦笑いする吉浦さんです。経営理念は『雇用の創出』です。

アンバランスのバランス

このように異なる業態に会社の集合体として、理念・ビジョンの整合性についてどう捉えているかをお伺いしました。「確かに私たち中小企業は資源が少ないので一点集中しろとよく言われます。でもよくよく考えると、果たしてホントに一つでいいのかと思っています。一つの事業だけをやり続けるリスクもあるのではないかと。事実この3社はいいときと悪い時がそれぞれにあり、トータルしてみると何とかなっています」。まさにアンバランスのバランス、一つのモデルケースとして一考の余地があるのではないかと思われます。

3社ともに決算期が異なるので吉浦さんが方針を提示して、社員が具体的な活動を考え経営指針書を作成しています。吉浦さん自身も「今後はこの3社の相乗効果で何かできないかと思案しています。また次の5年10年を見据えたビジョンを策定していこうとしています」と語ります。

自分との約束

取材の最後に吉浦さんが考える自立型企業についてお聞きしました。「自分との約束を大切にする会社ではないですか。自分との約束が守られなければ、社員や顧客との約束も守られないと思います。私の場合、それが出発点でしたし一番大切にしていることです」。

取材協力ありがとうございました。

WELCOME Fresh our partners

ようこそ同友会へ

新入会員ご紹介

株式会社 大洋サンソ

高圧ガス及び機械工具類卸売。ガソリンスタンド経営。

糟屋郡志免町南里6-1-10
TEL 092-936-0003

専務取締役 井上 透（いのうえ とおる）（福友支部）

大洋サンソは工業、食品、医療向けの高圧ガスを扱っております。また工場で扱う機械や資材も扱っております。入会のきっかけはヒトに特化して会社を良くしたいと考えた時に同友会が経験、知識ともに学べる場所だと感じたからです。例会だけでなく、ゴルフやマラソンに誘っていただき公私ともに充実しておりますが、今年はまずあすなろ塾に参加し、経営計画書を作成します。

kiitos 株式会社

高品質な家事代行サービスを福岡・大阪・兵庫にて展開しております。

福岡市博多区中洲5-3-8 アクア博多5F
TEL 092-287-9686

代表取締役 廣瀬 玲子（ひろせ れいこ）（南支部）

福岡・大阪・兵庫にて家事代行サービスのアソシアを運営しております。お忙しい方々に代わって、お掃除・お洗濯・お料理などの家事全般をお受けしております。各ご家庭のご要望に合わせた作業を、毎回同じスタッフがお受けする「オーダーメイド型の家事サービス」は大変ご好評をいただいております。先輩方のお力をお借りして、たくさんのことを学ばせていただきたいと思います。

創信

お店・会社とお客様をつなぐ「動く名刺」と「まごころ繁盛」の導入・運用コンサルティング

福岡市東区塩浜1-34-1
TEL 090-2923-1389

代表者 中村 信之（なかむら のぶゆき）（東支部）

有限会社花樹園の渡辺誠治さんにご紹介いただき入会しました。弊社は、パソコン上の顧客データをバックアップしたい、パソコンのセキュリティが心配等、ITでのお困り事の解決＆ご要望のご相談に乗ります。販促ツール「まごころ繁盛」とクラウド型名刺「動く名刺」の導入＆代理店募集も承っております。他支部を含め、会員の皆様との出逢いに感謝しております。

れいめい法律事務所

一般民事・企業法務につき、紛争解決及び紛争予防の観点からアドバイス致します！

福岡市中央区渡辺通1-12-9
フジイビル7F
TEL 092-771-5051

代表者 牧 智浩（まき ともひろ）（青年支部）

平成24年8月に株式会社綱屋の村上正明様のご紹介で入会しました。例会等で学んだことを活かして日々の業務に邁進しております。

当事務所の取扱分野は、企業法務・交通事故・相続・労務問題など多岐に亘りますが、その他に予防法務（紛争の未然防止という観点からの法的アドバイス）やリーガルチェックなどもご提案しております。ぜひお気軽にお声掛けください。

◆個人保証を撤廃すること
◆地域経済の再生に真剣に取り組んで欲しいと思います。大企業や中堅企業の海外進出や国内空洞化は避けて通れないので、違ったアプローチで地域経済を活性化することに注力すべきです。
◆延命措置だけではなく再生とセットでの支援を義務づけ、そこに協力することが必要。

■ 経営指針書（経営理念・経営方針・経営計画）

●**実践するかで開き**

経営指針書の実践企業は、景況DI値が明らかに良く、実践しているかどうかで景況判断が大きく開くのが分かる。過去のデータを見ると、実践企業は概ね3割弱といえる。

今期景況判断と経営指針書の作成と実践

	景況 DI	合計
合計	−27.0	333
作成し実践している	−8.9	112
作成しているが実践なし	−36.5	63
作成に至っていない	−34.3	134
作成予定はない	−45.8	24

■ 議長コメント

「景気好転の兆し！積極的に前に進もう！」

中小企業家同友会全国協議会（中同協）九州・沖縄ブロック

電力料金値上げに関する緊急アンケート 結果レポート

調査要領

調　査　時……2012年12月5日～2012年12月20日
対　象　企　業……中小企業家同友会全国協議会九州・沖縄ブロック　全会員企業（沖縄を除く）
調 査 の 方 法……会員専用サイト（一部FAX）にて配信、自計記入、回収

回答企業の概要

※比率は回答企業の構成比

回　答　数……832社の回答（回答率17.7%）（製造業 131社（16%）、建設業 156社（19%）、商業流通業 124社（15%）、サービス業 415社（50%）、不明6社）
本 社 所 在 地……福岡県 300社（37%）、佐賀県 6社（1%）、長崎県 52社（6%）、熊本県 151社（18%）、大分県 130社（16%）、宮崎県 94社（12%）、鹿児島県 81社（10%）、九州以外 3社、不明 15社
企 業 規 模（従業員数）……0～10名以下 419社（50%）、11名～20名以下 169社（21%）、21名～50名以下 140社（17%）、51名～100名以下 54社（7%）、101名以上 41社（5%）、不明 9社

■ 調査の趣旨

この度、九州電力（株）は家庭用電気料金平均8.51%、企業用電気料金平均14.22%の値上げ申請を行いました。この申請について中小企業家の声を集約するために、中小企業家同友会全国協議会九州・沖縄ブロック（福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県）として初めて、一斉アンケートを実施いたしました。

■ 調査結果の概要

(1) 支払っている月額電気料金

5万円未満が最も多く44%なのに対して、100万円以上も50社となっています。支払い月額が大きいほど、値上げ率の影響は大きくなるものと考えられます。

(2) 今回の値上げ申請に対する考え方

「理解し納得できる」「やむをえないと考える」があわせて33%あるものの、「あまり納得できない」「全く納得できない」との回答があわせて67%となっており、値上げに対して厳しい考え方が三人に二人という状況です。

(3) 値上げが実施された場合の影響

「かなり影響がある」「ある程度影響がある」が56%、「あまり影響はない」「全く影響はない」が42%と分かれており、月額支払い金額によって影響が分かれていると考えられます。

生の声で見ても、負担増だけで月に500万円近くに上り、利益に大きく影響するという意見も出されています。

(4) 値上げが実施された場合の対応

全体の78%が「節電につとめ吸収できるようにとりくむ」としており、懸命の企業努力で、価格競争が激しく安易に価格転嫁できない状況を反映しているものと考えられます。

(5) 行政や関係機関等への要望や意見

国に対して電力自由化を強く求める意見などとともに、九州電力に対しては、徹底した企業努力を求める強い意見が出されています。

中小企業家同友会全国協議会（中同協）九州・沖縄ブロックとしての要望・提言

私たちは企業経営を通じて、地域経済の発展と活性化を促進し、地域の雇用を守り拡大することをめざし、「よい会社をつくろう・よい経営者になろう・よい経営環境をつくろう」の三つの目的のもとで、自助努力による経営の安定・発展と中小企業をとりまく経営環境を是正することに努めて参りました。リーマン・ショック後の赤字から何とか立ち直ろうとしている矢先にこの度の電気料金の値上げは、大きな負荷を与えられます。

私たちにとって電気は生活面にも生産面に於いても欠くべからざるものであり、しかも九州電力（株）からしか買うことができません。独占企業であるが故に社会的責任は非常に大きいわけですので、九州電力（株）に対しましては、

①徹底した企業努力を行っていただき、国民生活すべてに関わる電気料金の値上げを撤回していただくこと
②それでもやむを得ず電気料金を値上げする場合、最小限の値上げに留めること
を要望いたします。

また、国に於かれましては、

①送配電を分ける等の電力事業の自由化を強力にすすめること
②電気料金は「公共料金」であるとの認識の上で、値上げに関する監督機関を置くこと
を提言いたします。

中小企業家同友会全国協議会九州・沖縄ブロック

■構　成　福岡県中小企業家同友会　佐賀県中小企業家同友会
長崎県中小企業家同友会　熊本県中小企業家同友会
大分県中小企業家同友会　宮崎県中小企業家同友会
鹿児島県中小企業家同友会　沖縄県中小企業家同友会
（※但し今回は、電力会社が異なるため、沖縄は参加していません）
■会員数　5,727名（2013年1月1日現在）（今回の調査対象は、4,702名）
■役　員　中小企業家同友会全国協議会副会長（九州・沖縄ブロック担当）中村 高明
各県3名の幹事および1名事務局長で構成
■連絡先　福岡県中小企業家同友会事務局内
福岡市博多区吉塚本町9-15　福岡県中小企業振興センタービル 11F
TEL 092-686-1234　FAX 092-686-1230
■担当者　中小企業家同友会全国協議会事務局次長（九州・沖縄ブロック担当）川畑

第83回／景／況／調／査／(2012年10月～12月期) 結果レポート

夜明け前の厳しい冷え込みか？

調査要領

調　査　時 …… 2012年12月7日～2012年12月21日
対 象 企 業 …… 福岡県中小企業家同友会　全会員企業
調 査 の 方 法 …… 会員専用サイト（一部FAX）にて配信、自計記入、回収

回答企業の概要

回　答　数 …… 357社の回答（回答率18%）（製造業　62社、建設業　58社、商業流通業　50社、サービス業　166社、不明　5社）
企 業 規 模（従業員数）…… 0～10名以下　172社、11名～20名以下　90社、21名～50名以下　56社
51名～100名以下　22社、101名以上　15社、不明　2社
企業の所在地 …… 福岡地区　250社、北九州地区　34社、筑豊地区　25社、県南地区　38社、県外　8社、不明　2社
経 営 指 針 書（理念・方針・計画）…… 有り　175社（52.4%）、無し　159社（47.6%）

■ 全体的な特徴

景況感 DI	5.3 ポイント ↓ down
売上高 DI	3.3 ポイント ↓ down
利益 DI	4 ポイント ↓ down
新規受注 DI	7.5 ポイント ↓ down

●**2011年7月～9月期とほぼ同等に**

前回調査に引き続き、すべてのDIが一様に下がった。
特に新規受注DIは7.5ポイントの悪化となった。

■ 業種・従業員規模・地域別の特徴

●**建設業（土木）は景況感改善、建設業（設備）や製造業（消費財）は厳しい結果に**

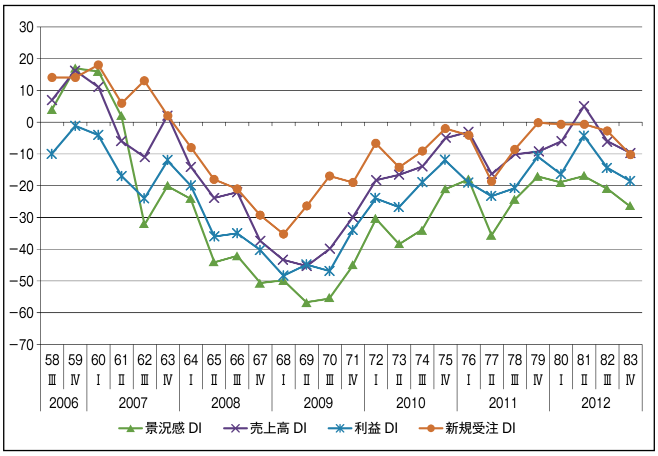
景況感DIでは建設業（土木）が大きく改善した。売上・利益・受注の各DIも改善していることから、業況は良かったことが伺える。一方、製造業（消費財）、建設業（設備）などは悪化している。

●**21～30名層が悪化。**

21～30名層の景況感が32ポイント悪化した。また、51～100名層を除く11名以上の規模において受注DIが二桁の悪化となっている。

●**各地域で悪化**

前回の期待に反して、すべての地域で悪化した。筑豊地区は10.2ポイント改善したものの、前回24.2ポイント悪化を受けてのものである。また北九州地区は次期予想として-41.2ポイントという非常に厳しい見方をしている。



■ 経営上の問題点

●**民間需要の停滞が増加**

上位5項目については顕著な変動は見当たらないものの、「民間需要の停滞」が増加しており、消費財や流通が悪化していることからも裏付けられる。価格競争においては若干ではあるが緩和されている。

■ 資金繰り

●**前回に引き続き悪化**

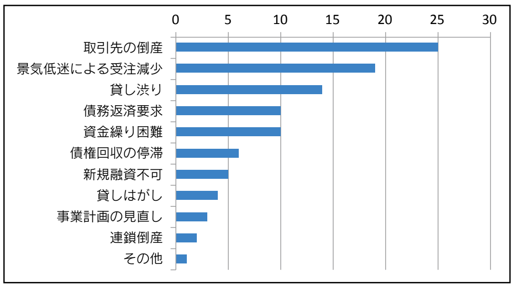
資金繰り DI は −16.1と前回より1.4ポイント悪化した。「やや窮屈」が3.3ポイント増加しており、若干の悪化傾向が表れている。

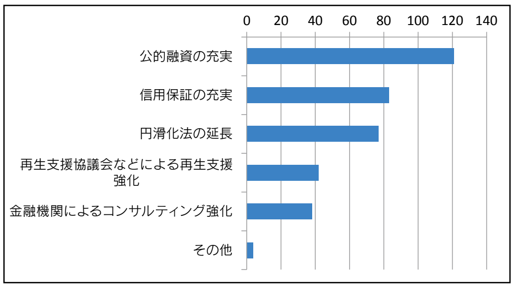
■ 中小企業金融円滑化法の終了

●**取引先の倒産を懸念**

中小企業金融円滑化法の終了（2013年3月）について聞いた。返済条件の変更を行ったことが「ある」企業は48社（14.2%）となった。
また、円滑化法終了の影響について「影響があると思う」が23.5%あり、その影響の内容は「取引先の倒産」が最も多かった。影響について「わからない」が32.1%あることから、将来的不安感や間接的な影響を恐れる声が多いとみられる。必要と思われる施策などに関しては、「公的融資の充実」が多くあがった。

金融円滑化法施行以降、返済条件の変更を行ったことは		
ある	48	14.2%
ない	271	80.4%
今後利用を検討中	11	3.3%
申し込んだが断られた	1	0.3%
施行以前に条件変更した	6	1.8%





会員企業の声

◆やはり当社の業況を注意深く見ている感じです。近年の業績から要注意先になっていると思います。
◆融資先がないらしく、積極的に融資の提案をしてくるようになった。
◆大幅なリストラならびに抜本的な来年度経営改善策の策定を迫ってきており、融資に関して“貸し渋り”の圧力をかけてきている。
◆金余り現象が続いているが、創業したり、規模拡大についてはなかなかお金が借りられない。このような企業について、制度融資などを考えたらどうか。

第43回 中小企業問題全国研究集会 ※全支部例会振替

開催概要

日 時　2013年2月14日(木)　13時開会　～　15日(金)12時閉会

会 場　ヒルトン福岡シーホーク（福岡市中央区地行浜2-2-3　TEL：(092)844-8111）

■ スケジュール

2月14日(木)

12：00　受付開始
13：00　分科会開始
18：00　分科会終了
　　　　会場移動
18：45　懇親会開始
20：15　懇親会終了　(1日目終了)

2月15日(金)

9：00　全体会開始
9：20　分科会報告
10：00　記念講演　～人を活かす経営～
　　　　株式会社ふくや　代表取締役社長　川原 正孝氏
11：30　まとめ・閉会あいさつ
12：00　閉会　(全研終了)

■ 分科会

第 1 分科会「強まる｢逆風｣を打開し、中小企業が発展できる環境をめざす」
第 2 分科会「地域とともに！ 中小企業家の思いが結実した与謝野町中小企業振興基本条例」
第 3 分科会「福島のその後、私たちは負けないⅡ」
第 4 分科会「社員の人生の物語を大切にする社風で会社が育った」
第 5 分科会「家守りがつくる、地域循環型工務店」
第 6 分科会「中小企業はモテない男！? 人を生かす経営の実践で選ばれる会社に」
第 7 分科会「｢真連携｣から生まれる新事業創造」
第 8 分科会「町工場の意識改革、｢どう作るか｣から｢何を創るか｣へ」
第 9 分科会「中小企業のアジアへの展開は成功するか」
第10分科会「北海道産食材をいかしたオンリーワン戦略」
第11分科会「中小建設業界の動向と活路」
第12分科会「地域一番店をつくる」
第13分科会「ビンテージビルがまちを変える！夢あるリノベーションによる企業成長」
第14分科会「社員も社長も会社も成長していく IT 見えるか？経営」

第19期 役員研修大学開催!!

経営者自らの能力の向上なくしては会社の発展と存続は望めない!!
同友会活動を企業経営に活かそう!!

役員研修大学では同友会の理念や歴史、経営(者)のあり方などがキチンと整理され、これまでより以上に深く理解・納得することができます。
その深まりのもと、様々な会やグループのリーダーとして活動することは、よい経営者、よい会社つくりにたいへんいい経験になります。
それは自己や自社の変革の歩みを進め、夢を実現するための大きな力になるでしょう!!

今回は愛知同友会より代表理事　加藤氏をお招きした特別カリキュラムとなります。
役員の方のみならず、一般会員の皆さんの参加もお待ちしております。

開催概要

■ 報　告：愛知中小企業家同友会　代表理事
　　　　　エイベックス株式会社　代表取締役会長　**加藤　明彦** 氏
■ 日　時：2013年3月9日(土)　10:00～18:00（終了後、懇親交流会）
■ 会　場：ホテルクリオコート博多（博多駅筑紫口）
■ 参加費：￥1,000(昼食代)（懇親交流会の参加は、別途¥3,500程度）

2月 行事案内

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

お申し込み、お問い合わせは、e.doyu もしくは、同友会事務局までお願いします。

12 火 18:30～20:30　地球環境問題委員会＆国際交流委員会

グリーンアジア国際戦略総合特区勉強会

グリーンアジア国際戦略総合特区でビジネスチャンスを見つけよう

■ 福岡県中小企業振興センター 501会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15　福岡県中小企業振興センタービル5F
☎092-622-0011

■ 後潟　和也氏　福岡県商工部　国際戦略総合特区推進室　企画主幹

グリーンアジア国際戦略総合特区とは、環境を軸とした産業の国際競争力の強化を図り、アジアから世界に展開する産業拠点の構築を目指すものです。
本特区は、①都市環境インフラのアジア展開、②環境配慮型製品の開発・生産拠点の構築、③資源リサイクル等に関する次世代拠点の形成と展開、④アジアとのシームレスなビジネス環境の実現、の四つの柱で推進しています。
今回の勉強会では、グリーンアジア国際戦略総合特区についての具体的な制度や政策等について触れます。制度や政策の概要説明の後には、質問の時間を用意していますので、この事業の内容をわかりやすくするために具体例としてみなさんの事業が該当するかなど、大いに質問をご準備ください。

22 金 9:30～24 日 16:00　経営労働委員会

経営指針作成 2泊3日セミナー

■ 虹の松原ホテル　佐賀県唐津市東唐津4丁目　☎0955-73-9111

『あすなろ塾』での学びをさらに深め、あらたに経営方針・経営計画を加え、2泊3日で経営指針書を実際に作成します。
参加費：45,000円　（再受講）35,000円

23 土 14:30～17:30　同友すばる特別委員会　同友すばる事業承継塾第4講

■ 電気ビル共創館3F
福岡市中央区渡辺通2-1-82　電気ビル本店隣　☎092-714-5743

「受け継ぐ者の決意づくり」
株式会社筑紫工業　代表取締役　**新内　一秋**氏

「承継は経営者の最重要仕事 ～いかにして承継するか～」
株式会社紀之国屋　会長　**中村　高明**氏

今年度、同友すばる特別委員会では、年4回にわたり「事業承継」をテーマに勉強会を開催しています。昨今中小企業において、「事業承継」は大きな課題として取り上げられています。いかにスムーズに受け継ぐことができるか。社長の「心意気」を伝え、企業の存在意義を受け継ぐことができるか。今後中小企業が生き残るため、事業承継を学ぶことは大きな意義があると考えます。承継するにあたって必要になる手続きや知識、心構えを学び、企業づくりに役立てる為、共に学びましょう！

28 木 18:00～21:00　新会員フォローアップ部会　第99回新会員フォローアップセミナー

■ 同友会会議室　福岡市博多区吉塚本町9-15
福岡県中小企業振興センタービル11F　☎092-686-1234

3月

9 土 15:00～17:30　NPO交流・ソーシャルビジネス特別委員会　3月勉強会

京都のビンテージが生みだす都市再生「都市居住推進研究会のチャレンジ！」
～京都の不動産事業者・建築士・研究者・行政関係者がタッグを組んで、住まい・まちづくりの難題に取り組んでいます～

■ 山王マンション1F特設会場　福岡市博多区博多駅南4-19-5
■ 大島　祥子氏　都市居住推進研究会　事務局／スーク創生事務所　代表（京都同友会）
参加費：500円　　共催：NPO法人福岡ビルストック研究会

青年部連絡会設立記念交流会

我われ青年経営者が未来を創る
～共に学び、互いに実践！よい会社、よい経営者になろう！～

本交流会は、同日開催の中同協第4回青年部連絡会（各県代表者会議）の開催にあわせ、全国の青年経営者の参加も募り、福岡同友会の青年部連絡会のキックオフとして3つの分科会と懇親会を行います。青年経営者が共に学びあい、研鑽し、励ましあい、企業づくりと同友会運動の未来を創造していきましょう。

■ 日　時：**2013年2月13日（水）**
16：30～21：00（16：00受付開始）

■ 会　場：①分科会　TKP博多駅前シティセンター　16:30～19:00
（福岡市博多区博多駅前3-2-1日本生命博多駅前ビル8階　TEL092-433-2833）
②懇親会　ホテルセントラーザ博多　19:30～21:00
（福岡市博多区博多駅中央街4-23　TEL092-461-0111）

■ 参加費：**4,000円（分科会・懇親会）**

※今回の交流会はご参加にあたって年齢制限はありません。
※会場が定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます。
※キャンセル期限：2013年2月6日（水）それ以降はキャンセル料（全額）をご負担いただきますので、予めご了承下さい。

〔分科会のご案内〕

第1分科会［経営指針書の作成と実践］
経営者が果たすべき使命とは
～無謀な夢の実現、未来への無謀な夢～
報告者　（株）ティーディーエス　代表取締役
吉浦　茂弘 氏〔福岡同友会 経営労働委員／東支部〕

第2分科会［同友会活動と企業づくり～学びと実践～］
経営指針に基づく全社一丸の企業づくり
～常に社員が主役の魅力溢れる人間集団～
報告者　（株）ヒューマンライフ　代表取締役
中山　英敬 氏〔福岡同友会 代表理事／南支部〕

第3分科会［企業成長と人材育成］
売上高150%の成長率！その秘訣とは!?
～お金ばかりを追い求めたどん底からの復活物語～
報告者　（株）デリズ　代表取締役
井土　朋厚 氏〔福岡同友会 福友支部役員〕

我が社の取り組み

物づくり、人づくり、地域づくり 23

30年来の夢を実現…世界初！「天然素材」にプリーツ加工

株式会社 オザキプリーツ
代表取締役 尾崎（おざき） 義行（よしゆき）氏（西支部）

プリーツは古代からの贈りもの

1979年に勤務していた会社のプリーツ部門として独立し、1983年に現在の桜坂で法人としてスタートしたプリーツ一筋の尾崎氏です。プリーツは古代エジプトの彫刻にも刻まれており、「プリーツは古代からの贈りもの、そして女性の美を創造する永遠のテーマ」という社是になりました。

プリーツ加工には、①ハンドプリーツ：厚い型紙をつくり裁断された部品の布を1枚ずつ型紙に挟んで加熱 ②マシンプリーツ：手では折れない細かなプリーツが表現できる ③しわプリーツ：出来上がったブラウスなどをくしゃくしゃっと寄せて加熱する、の3種類があります。これらを組み合わせ無限のプリーツデザインを提案しています。中でもハンドプリーツに使われる型紙の美しさは格別です。いったいどうやって作ったの？という魔法の折り紙のようでした。尾崎氏は自らがあでもないこうでもないとデザインを考え、紙を折り新しいプリーツを模索するのだそうです。

夢のプリーツ

プリーツ加工に携わった30年前から、プリーツがかからないと言われてきた「天然素材」に、とれないプリーツ加工をしたいと取り組んできました。長年の試行錯誤を経てついに完成した世界で唯一のこの技術は平成23年に特許を取得することができました。それが「MAX　PLEATS」です。綿・麻・シルクにプリーツ加工することができ、また加工によって風合いを損なうどころか、加工にシルクプロテインを用いることによって滑らかな風合いに仕上がり、さらに、水洗いしてもプリーツ性を損なう事もなく、素材によってはアイロンをかけてもプリーツが取れません。そのため素材に縛られることのない自由なデザインの選択肢が格段に広がり、これまで考えられなかった自然素材のブランドともお付き合いが始まったとのことでした。

尾崎氏が着ていたワイシャツにはこの加工がしてあり、出張に持って行ってもかさばらず、ホテルでじゃぶじゃぶっと洗ってそのまま干しておけば翌日また着ることができるそうです。オーダーすれば1枚から作ってもらえるとのこと。加工だけでもいいそうです。

そのほかにも世界特許をもつ「ORIORE」や「アートプリーツ」などといったプリーツ加工もあります。創業以来、提案型のプリーツ専門メーカーとしてせめる営業を貫いてきました。そして3年前からはメーカーとして自社製品のオリジナルブランド「O'sPs」をデパートで販売できるようになり、まだまだこれからも挑戦は続きます。

「MAX PLEATS」が施された綿100％のワイシャツ

型紙に挟むプリーツ加工の様子。手作業で行われます。

株式会社 オザキプリーツ
〒810-0024
福岡県福岡市中央区桜坂2丁目9-17
TEL 092(713)9125(代)
FAX 092(761)7597

取材　広報情報室　池田 宏子
写真　広報情報室　佐藤 愛

2012年度　第9回理事会報告

■ 日時：2013年1月9日（水） 15：00～18：00
■ 会場：福岡県中小企業振興センター 501会議室
■ 出席：42名（欠席11名） 出席率79%
■ 議長：樋口副代表理事

●議事に入る前に、（財）福岡県中小企業振興センターより、同友会も後援をしている中小企業経営革新セミナー（1月22日（火））と（財）福岡県中小企業振興センター賛助会員への加入の案内があった。
●理事会に先立ち、ひびき支部会員　中尾茂松氏（（株）エポックス　代表取締役・12月7日逝去70歳）の冥福を祈り黙祷を行った。

□ 開会あいさつ（中村代表理事）

明けましておめでとうございます。今年は巳年です。包むの字の中にも巳がありますが、胎児の象形文字とも、蛇が地上から出てくる姿とも言われています。その姿から、生き返る、起こるという意味が連想されています。そこで今年は、新しいビジネスを起こすか、新しい顧客を開拓するか、お店を出すかなど、新しい色、つまり特色を出す年になるのではないでしょうか。そういう年にするにしても、中小企業では、人の問題があります。お正月の番組で、元プロ野球監督の野村氏が栗山監督について語っていました。栗山監督は、四番バッターの中田選手、吉川投手を辛抱強く使い育てましたが、これが監督の仕事ということでした。経営者も同じで、人を見つけ、育てて、人を生かすことが大事で、これがないと新しい事業計画はできません。お互い同友会の宝である「労使見解」つまり人を生かす経営を実践していきましょう。

今年は、まずは青年部連絡会交流会と全研がありますので、それらを成功させる、そして4月の記念総会と記念式典を成功させる。先輩が荒波の中で作ってきたことを感謝し、今までの伝統を守りながら新しい一歩を記していかなければなりません。そして記念誌は8月に出版される予定です。五十周年記念と、そして地域のために、理事会が先頭になって2300名を目指していくことを強くお願いします。

最後に、本年一年が皆さんにとってよき年となりますよう祈念し、一月の挨拶にかえさせていただきます。

■ 報告事項

1.活動報告

①前回理事会以降の全国・全県的な活動（事務局長）
- 会員参加592名、ゲスト35名の参加、社員他36名の参加、計663名の参加。
- 九州沖縄ブロック代表者会議（中村代表）
  2013年5月23日（木）に長崎で開催予定。基調報告は中同協副会長でもある三重の宮崎由至氏、研究課題講師はエコノミックガーデニングの山本尚史氏。今から予定をして欲しい。

②会員企業の動き（事務局長）
- 経営革新計画認定企業　経営革新計画認定企業、会員企業1社報告（累計320社）
- 久留米市雇用優良事業所表彰　1社
- マスコミ報道、他（見る資料を参照）

③対外的活動（事務局長）
- 「ふるさとがえり」制作の林監督の新しい映画製作への協力（特別協賛）
- 第9回福岡インターナショナル・ギフト・ショー2013への名義後援依頼　〈承認〉
- 教育関係機関での報告、講演
- 福岡財務支局よりアンケート依頼
- 民法改正に当たっての緊急要望
  個人保証撤廃の動きがあることを報告

■ 協議事項

2.2012年度前半期総括と2013年度運動方針
3.2013年度に向けての流れ

①第83回景況調査分析結果（中村室長）
- すべてのDIはダウンしているが、去年の選挙を経て人の「気」が変わったのではないか。政権が変わり株価が上がるなど期待ムードも高まり、土木を中心に改善の兆しが見られる。また昨年の忘年会は人が多く、人がお金を使うようになってきた。そこでコメントは、「夜明け前の厳しい冷え込みか？」というまとめになった。
- 金融円滑化法が終了することにより、影響あると答えた企業は14%。影響を受けた企業から影響を受けることを考えると大きな数字。
- 経営指針は作成していない企業が4割と多い。指針そのものを必要と感じていない割合は8%。経営指針を作成している企業のDI値がいいことから、まだ作成をしていない企業にどのように取り組んでいくかが課題。

②2012年度運動方針（スローガン）と2013年度役員予定者研修会（中山代表理事）
- 各部署より提出された総括は、21日までに現・新正副代表理事にて確認をし、方針骨子までたたいて策定する予定。その上で26日の現・新理事研修会に臨みたい。現・新理事研修会は、現理事と次期理事予定者および事務局を対象とする。午前の部は、2012年度総括と2013年度活動方針骨子の提起。そして午後は予算策定に入る。予算の割り振りについては、使いやすいように考えているが、地区活動予備費と支部にどれくらい予備費が必要かを現実に近いところまで考えて検討して行きたい。そして理事会と地区会の役割について現・新役員が集まるこの研修会で明確となるよう討議をしていく。そして3月の理事会で確認後、4月の総会を迎えたい。
- 26日の現・新理事研修にて提案をするスローガン案を検討。今後、各地区や支部でも協議をふかめ、全体で共有していく。

③未来展望プロジェクト最終確認資料（中山代表理事）
- 前回の理事会にて資料を確認するように伝えたが、未来展望プロジェクトの流れが現在の理事に正確に伝わっていない部分もあるのではないかということもあり、今回資料をつけているので、その時に理事でなかった方は必ず目を通してほしい。

■ 審議事項

4.除籍、退籍の審議（長井室長）
除籍2名を承認。

5.2013年度 役員候補について（岩本委員長）
副代表理事3名について、貞池理事、時枝理事、森理事を推薦、各地区会長4名について、笠置理事、坂本理事、中川理事、坂口壱義氏をそれぞれ推薦することの報告があり承認された。

6.役員選考規定改定案（長井室長）
現在選考中の役員は、今の役員選考規定に則り選考しているが、次期以降の役員選考に向けて、各組織の役員選考規定の統一や現在は存在しない役職の整理などを行った改定案を提出し、承認。

■ 協議事項

7.会員増強のとりくみ（田浦代表理事）

①12月会員数：福岡1980名、全国42,515名と報告
②12月入会者、退会者、退会申し出者：見る資料にて入会者、退会者確認。退会者について、経営計画セミナー参加者や地元でも有力な企業が入っている。いろいろな手立てで退会をしないよう慰留してほしい。
③増やす人を増やす活動の進捗状況：2012年4月から11月にかけての入会数は149名で、紹介者数は107名。また役員数は700名にのぼるので、これらの役員が一人を紹介するだけで700名の入会となる。12月に代表理事名で紹介運動をはじめたが、まだ紹介数が少ない。これからも会員、理事、事務局が一体となって「増やす人を増やす活動」を継続して取り組んでいきたい。
④理事会の構えとV90：「増やす人を増やす活動」を始めたが、まずは全理事が率先して一人の紹介をしてほしい。
⑤目標必達のためのとりくみ：全県知る会のゲスト84名について、1月中に入会手続きを終わらせてほしい。あすなろ塾、例会など誘えるところに誘ってほしい。
1月末までに2300名を目指しているが、1月の幹事会を終了後、1月末までに入会手続きを終えた新会員は幹事会までさかのぼり1月承認としてほしいと提案し、承認。また1月末までに2300名を達成することは難しい状況だが、年度末は3月となるので、1月が終わっても引き続き2300名に向けて全力で取り組んでいく。
また、増強に向けての意見が発表され、達成に向けてあらゆる取り組みを進めることを確認した。

8.創立50周年事業推進

①第43回中小企業問題全国研究集会（林田副実行委員長）
参加目標514名に対して、現在の申し込みは27名。順次チケットも配布しているので、早めの登録をお願いしたい。また参加補助1万円があるが、当日参加をしないとその補助はないので、申し込みのみにならないようにきちんと参加促進をしてほしい。なお、2日目に不参加でも参加補助は全額出るが、積極的に参加するようにあわせてお願いをしてほしい。
来賓について、九州経済産業局、福岡県、福岡市については、2日目の全体会に、それ以外の来賓には、1日目の懇親会に参加をお願いしている。
当日欠席の場合の参加費補助について、審議した結果、今回は50周年事業を成功させるために今回限り欠席をしても参加補助をすることを確認した。なお、式典についても参加促進方法を十分に検討することを確認した。
さらに、審議の中で、「経営者として参加すると約束をしたのなら、それを守ってほしい。そしてもし欠席となれば、キャンセル料がかかるのだから、支払いをしないといけない。参加費が2万円であり、うち1万円は会費より補助があるということをきちんと伝える必要がある。」という経営者として基本的考え方を伝えていくことも重要であると確認。また、この措置は今回に限る事も確認した。

②創立50周年記念式典（中野実行委員長）
簡単なビデオ製作に入った。また実行委員が全支部より出ていないので早急に決めてほしい。これまでの50年を振り返り、そして次の50年後の100周年を目指す気持ちでやっていきたい。
祝賀パーティーの参加補助は、フォーラムと同じで、会費からいただくということなので、次回までに検討して回答をする。

③創立50周年記念誌（貞池実行委員長）
特集記事の収録は終わり、あとは記事と広告の原稿提出を待つばかりとなった。該当者は早急に出すようにお願いしたい。

■ 報告事項

9.本部・室・委員会関係

①電力料金アンケート結果報告と対応（中村代表理事）
全九州で取り組んだ初の事例。各県同時に発表したいが、今週末に中同協にて幹事会があるので、そこで時期、方法などを確認したい。また1月は景況調査発表をマスコミにも行うので、あわせてこの結果を発表して中小企業の考えを伝えたい。理事から意見が出され、再度政策金融室にて検討のうえ、どこに意見を提出するかを検討することになった。

②総務財政室：福岡同友会内で開催される行事に対する謝礼および交通費、参加費の統一基準の新案と未収状況と退会申請者について（長井室長）
- 各行事でバラバラなところがあるので、統一して行きたい。具体的には飲食は会からの補助はやめて各自が支払うようにしたい。今後検討をしていく。
- 未収については、在籍のままで未収金額がある会員が増えており景気が厳しくなってきている現れだと捉えている。このままだと除籍にもつながるので、回収を強化して行きたい。
- 退会申請者については、退会申請後半年以内に支部で結論を出してもらい、それでも出ない場合は地区で結論を出すよう説得をするようになっているがまだ結論が出されていない。早急に地区・支部で結論を出すようにしてほしい。

③第19期役員研修大学（渡木室長）
2013年3月9日（土）に開催する役員研修大学だが、報告者が愛知の加藤代表理事に決まった。新役員予定者は必ず参加するよう声かけをしてほしい。

④地球環境問題委員会、国際交流委員会：1月勉強会（末竹委員長）
2013年2月12日（火）に、両委員会合同で、グリーンアジア国際戦略総合特区の勉強会を開催。

⑤同友すばる事業承継塾（白石委員長）
2013年2月23日（土）に、最終講を開催。時間が通常より30分遅く14時30分からなので、注意をしてほしい。

⑥希望者全員65歳雇用対策セミナー（北原実行委員長）
2013年1月30日（水）に、最後のセミナーを開催。

⑦青年部連絡会設立記念交流会（滝山支部長）
2013年2月13日（水）に、開催。交流会には年齢制限はないのでぜひ参加して欲しい。

⑧大牟田支部設立40周年記念講演会（濱田支部長）
2013年1月29日（火）に、開催。会員50名、ゲスト50名、来賓20名の120名規模での開催を計画している。

□ 閉会あいさつ（田浦代表理事）

登山家の三浦雄一郎氏は80歳でエベレスト登頂に挑戦していると聞いたが、70歳でも登頂している。三浦氏は一度60歳で引退をしたが目標もなくなりただなんとなく過ごしていた。しかし、これではいけないと目標を持ち、70歳でのエベレスト登頂につながった。いくつになっても目標を持つことは大事で、私も目標を持ってやっていきたい。

月刊 同友 559号
2013年2月1日《毎月1回・1日発行》
平成9年3月14日第3種郵便物認可
頒価／380円（年間4,500円・送料込み）会員の購読料は会費に含まれます。

同友会会員様、
アクアクララをお得に始めましょう！

アクアクララのお水がモンドセレクション水部門で
「優秀品質最高金賞」を受賞！
※アクアクララウォーターボトル12Lが2012年モンドセレクション水部門において受賞

初回限定
アクアクララ
「スタートアップパック」
お水1本分の料金で、3本お届けします！
● パック内容
・ウォーターボトル（12ℓ入り）3本
（1本1,260円×3=3,780円）
・ウォーターサーバー設置月のレンタル料
特別価格
1,260円（税込）

さらに ＋ プラス

「月刊同友を見た」で！
お問い合わせください。
特別特典として
ウォーターサーバー・レンタル料（月1,050円）6ヶ月無料
（但し 1年間のご使用をお願いします）
他に選べるサーバーもあります。
※くわしくは、フリーダイヤルまでお気軽にお電話ください！

お届けします。あんしん・おいしいお水。
アクアクララグループ
川添石油株式会社グループ （有）アクアショップ カワゾエ
フリーダイヤル 0120-328-471

目指せ！ 九州・福岡No.1
お掃除プロサポーター
プロだから出来る仕上がり
エイエス九州（有）
0120-530-279
TEL.092-915-0160 FAX.092-915-0161
〒816-0852 福岡県春日市一の谷1丁目135

ビジネスの最前線で活躍できる
人材を育成しています
貴社で求人の際は お声をかけて下さい
専門学校 福岡カレッジ・オブ・ビジネス
〒810-0052 福岡市中央区大濠2-8-13
TEL 092-741-1120 FAX 092-722-1302
http://www.fcb.ac.jp/

貴秀グループ
博多名物もつ鍋 やまだ家
福岡市中央区長浜1丁目2-5（那の津通り、KBC横）
営業時間／17：00～翌1：00、17：00～24：00（日・祝日）
年中無休 駐車場あり 個室6間 堀りごたつ座敷80名
■ご予約・お問い合わせは
お気軽にお電話下さい
☎ 092-714-7075
http://yamadayaweb.com
もつ鍋 やまだ家 2F
カフェ・レストランGB
パーティールーム等団体様対応！ ランチ
☎ 092-761-5229 日曜休み

きたはら社労士事務所
人に関わる法律の専門家
社会保険労務士
Akinori kitahara
北原 明典
〒811-0201 福岡市東区三苫5-1-7 305号
TEL:092-607-2406 FAX:092-607-2409
MAIL:akinori1019@diary.ocn.ne.jp
D携帯090-1933-9142
HP:http://www.sharoshi.com

WILLCOM
電話代でお困りではないですか？
法人契約だと、さらにお得！
だれとでも定額ですべての国内通話が無料に
新ウィルコム定額プランS/GS 月額 725円 ＋ だれとでも定額 月額 980円 ＋ LIBERIO 月額 200円 ＝ 月々合計金額 たったの 1,905円
ウィルコムどうしの通話は24時間いつでも 無料
他社ケータイ、固定電話への通話が無料
WILLCOM PLAZA
ウィルコム プラザ
原四ツ角
福岡市早良区原5丁目1-3
☎092-852-7055

福岡県中小企業家同友会 広報情報室 「月刊 同友」編集部
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11F
TEL：092-686-1234 FAX：092-686-1230

http://www.fukuoka.doyu.jp/
福岡同友会 検索

環境を守るため再生紙を使用しています。